

学期	期	月	時間	学習単元	学習教材	学習目標	ページ				
1学期	前期	4～6月	適時	目的に合わせて書こう		・目的に合わせて、文字を書くことへの興味や関心を深めることができる。 ・中学書写の学習内容が、他教科や日常生活へ広がることを理解できる。 ・書写の学習を学校生活のどのような場面で生かすことができるか、話し合うことができる。	①・1				
				目次 第一～第三学年		・中学校三年間における書写の学習内容や目標を理解することができる。	2・3				
				「まなびリンク」を活用しよう		・学校のルールを守りながら、学習に役立つ方法をウェブサイトで見えて理解することができる。	4				
				知りたい！さまざまな筆記具		・身のまわりにあるさまざまな筆記具について話し合い、使い分けて効果的に書く方法を理解することができる。	5				
				詩「ふしぎ」 金子みすゞ		・よい姿勢や用具の持ち方で、配列よく詩を書くことができる。	6・7				
				姿勢と用具の使い方		・小学校で学習した姿勢・執筆、用具の使い方について確認することができる。	8・9				
				学習の進め方		・学習の進め方を理解することができる。	10・11				
				書写をとおして学んでいくこと		・中学校三年間における書写の学習内容や目標、各学習内容の関係性を理解することができる。	12				
				扉 第一学年		・第一学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。	13				
				学習内容を効果的にノートに書こう		・ノートの基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	14・15				
2学期	前期	4時間	適時	一 楷書で書こう	1 筆使い－基本点画－	・小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、確認することができる。	16・17				
					2 筆使いと字形「天地」	・小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いと字形を理解して書くことができる。	18～21				
					3 学習を生かして書く－字形、筆順－	・字形の整え方と筆順の原則を理解して書くことができる。 ・毛筆で学習したことを、硬筆に生かすことができる。	22・23				
					■（コラム）筆、墨、硯、紙について知ろう	・書写で用いられる用具に興味をもち、材料や産地などのテーマにそって、調べることができる。	24・25				
		7～9月	4時間	二 楷書と仮名を調和させて書こう	1 楷書に調和する仮名「いろは歌」	・楷書に調和する仮名の筆使い、字形を理解して書くことができる。 ・「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	26～29				
					2 学習を生かして書く－配列－『竹取物語』	・漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書くことができる。	30・31				
					3 学校生活に生かして書く ・校庭の植物の観察をレポートにまとめる ・お薦めの本の帯やポップを作る ・ポスターを書く（ポスターセッション用）	・さまざまな形式の基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して、さまざまな形式に合わせて書くことができる。 ・伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を工夫して書くことができる。	32～35				
			適時		■（コラム）文字の変遷	・文字の変遷について理解し、身のまわりの文字の書体に関心をもつことができる。	36・37				
			3学期		後期	10～3月	9時間	三 行書で書いてみよう	1 行書学習のはじめに	・残されてきた文字や日常生活の文字から、行書という書体を理解できる。	38・39
									2 楷書と行書の違い「和」	・楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴などを理解できる。	40・41
3 行書の筆使い「大」	・行書の筆使いを理解して書くことができる。	42・43									
4 点画の連続と変化 1「大洋」	・点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	44・45									
5 点画の連続と変化 2「栄光」	・点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	46・47									
6 点画の連続と省略「平和」	・点画の連続と省略を理解して書くことができる。	48・49									
7 学習を生かして書く－行書の特徴－	・これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書くことができる。	50・51									
適時	■（コラム）あの人が残した文字	・日本の歴史上の人物が書いてきた文字について関心をもち、書かれた字形や身のまわりの文字について話し合い、文字について興味を深めることができる。		52・53							
12・1月	3時間	◇書き初めを書く		「新たな決意」※「伝統文化」		・手書きと活字との違いや共通点などについて考え、活字の書体の使い分けについて理解することができる。 ・活字の変遷や特徴について理解し、社会での活字の使われ方について考えることができる。	54～56				
						・文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。 ※行書の特徴や配列を理解して書くことができる。	57～60				
			■（コラム）「書くこと」の変遷		・人が文字を書いてきた目的について関心をもち、時代を追いながら理解することができる。	61～64					

学期	期	月	時間	学習単元	学習教材	学習目標	ページ
1学期	前期	4～7月	適時	扉 第二学年		・第二学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。	65
			6時間	一 行書で書こう	1 点画の省略「白雲」	・点画の省略を理解して書くことができる。	66・67
					2 筆順の変化「深緑」	・筆順の変化を理解して書くことができる。	68・69
				3 学習を生かして書く－行書の特徴－	・これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書くことができる。	70・71	
2学期	後期	9～11月	7時間 (※1含む)	二 行書と仮名を調和させて書いてみよう	1 行書と仮名の調和「広がる夢」	・点画の連続と配列を理解して書くことができる。	72・73
					2 行書に調和する仮名「いろは歌」	・行書に調和する仮名の筆使い、字形を理解して書くことができる。 ・「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	74・75
					3 文字の大きさと配列	・文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	76～78
			適時		■（コラム）短冊と色紙（発展）	・短冊と色紙について関心をもつことができる。	79
			※1		4 書く速さを意識して書く －行書と仮名の調和－『走れメロス』	・行書と行書に調和する仮名の書き方を理解して、書く速さを意識することができる。	80・81
				5 学習を生かして書く －行書と仮名の調和と配列－ 『枕草子』『平家物語』	・行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。	82～85	
3学期	後期	12・1月	3時間	◇書き初めを書く	「宇宙への旅」「生命の尊重」	・行書の特徴や配列を理解して書くことができる。	137～140
		1～3月	4時間 (※2含む)	三 学習活動や日常生活に生かして書こう	1 さまざまな書く場面	・目的や必要に応じた書き方をするにはどのような点に注意するとよいか、話し合うことができる。	86・87
			適時		■（コラム）日本建築と「書」(発展)	・日本の伝統的な建築とそこに日常として使われていた「書」について理解することができる。	88・89
			※2		2 学習を生かして書く ・新聞を書く ・掲示物（ポスター）に案内を書く ・案内状を書く	・文字の大きさや配列を理解して、読みやすく書くことができる。 ・目的や必要に応じて、効果的に伝える工夫の仕方を理解することができる。	90～93
			適時		■（コラム）書の古典の鑑賞（発展）	・さまざまな楷書の古典について、関心をもつことができる。	94

学期	期	月	時間	学習単元	学習教材	学習目標	ページ
1・2学期	前期	4～12月	適時	扉 第三学年		・第三学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。	95
			3時間	一 行書と仮名を調和させて書こう	1 行書と仮名の調和「美しい自然」	・点画の連続を理解して書くことができる。 ・配列を理解して書くことができる。	96・97
					2 学習を生かして書く－配列－ 『おくのほそ道』	・行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。	98・99
3学期	後期	12・1月	3時間	◇書き初めを書く	「環境を守る」「真理の探究」	・行書の特徴や配列を理解して書くことができる。 ・中学校での書写学習のまとめとして、行書で書くことができる。	141～144
		2・3月	4時間	二 身のまわりの多様な表現をととして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう	1 多様な表現による文字	・身のまわりで見かける、文字のもつ表現効果について考えることができる。	100～103
					2 三年間の学習の成果を生かそう	・三年間の学習を生かして効果的に書き、日常生活に生かすことができる。	104～107
			書式の教室	手紙、一筆箋、封筒、はがき、年賀状、暑中見舞い、往復はがき、電子メール、包み紙、エアメール、原稿用紙、小包伝票、願書、志願理由書	・手紙や封筒、はがきなどの書き方について、具体的な例をもとにして理解することができる。	108～115	
				書写テストで確認	・三年間の学習をテストで振り返り、学習内容を確認することができる。	116・117	
				書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう ・さまざまな考えをまとめる ・段落の構成を考える ・スピーチを評価しながら聞く ・材料を整理して案内文を書く	・情報を整理するために、さまざまな方法を用いることを理解することができる。 ・さまざまな学習活動の場面に応じて、書写学習を生かして書くことについて理解することができる。	118～120	
			小学校で学習した漢字一覧表 中学校で学習する漢字一覧表	・小学校および中学校で学習した漢字を、共通する点画や部分で分類した表を使い、楷書や行書を調べたり、日常生活の文字へ活用したりすることができる。	121～133		
			補充教材集	「創造」「出発」「実現」「古典に学ぶ」「名作」「雲海」「理想」「開花」「有終完美」「旅立ちの朝」 色紙、短冊、半紙	・さまざまな熟語や語句を選んで書き、書写学習を深めることができる。	134～136	
		●芸術としての書道（発展）	・書かれた文字の読みやすさとは異なる美しさが、平安時代に見いだされたことを理解することができる。	②			